

令和4年2月13日

社会福祉法人 函館一条
利用者・保護者・関係者各位

「ワークセンター一条」及び「グループホームかみゆのかわ」における
新型コロナウイルス感染者発生に関して（続報）

2月9日、社会福祉法人函館一条が運営する通所事業所ワークセンター一条 及び 共同生活援助事業所グループホーム一条（住居名；グループホームかみゆのかわ）において、利用者1名の新型コロナウイルス感染者が確認された件に関して、その後の状況について報告致します。

2月13日現在、GHかみゆのかわの職員1名と入居者3名が陽性となっております。

上記の件に関しては、保健所の見解では濃厚接触に当たる方はいないということでしたが、状況を考えると非常にリスクが高いため、2月10日に法人独自でワークセンター一条の支援に関わる職員全員と、GHかみゆのかわの全入居者、全利用者のPCR検査を行いました。（PCR検査が困難な方3名に関しては、抗原検査を実施しています）この時点では、全員陰性が確認されました。

しかし、8～9日にGHかみゆのかわの夜間支援を行っていた職員1名と当該GH入居者1名が11日夜間に発熱し、12日に再度PCR検査を行い、2名とも陽性となっております。陽性となった職員は自宅療養、利用者1名は事業所借り上げのアパートで静養中、14日から療養施設に移る予定です。

また、12日夜間に発熱した入居者1名が13日にPCR検査を行い、こちらも陽性となっております。当該利用者に関しては、14日以降、事業所借り上げのアパートで療養予定となっております。

9日以降、ワークセンター一条とグループホームかみゆのかわに関しては、利用者も職員もお互いに行き来することがないように配慮しておりますので、ほぼ接点がない状態を保っております。グループホームかみゆのかわは、陰性の入居者に関しても4日間のGH待機として様子観察を行い、ワークセンター一条に関しては、14日以降は今後の感染状況に留意しながら、通常通り開所致します。

ワークセンター一条及びグループホーム一条においては、すぐに利用者全ご家庭に電話連絡を行い、できる限りの情報を伝えております。

社会福祉法人函館一条では、今後も速やかに情報をお伝えしていきます。改めて利用者、ご家族の皆さま、地域の皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

誰が感染してもおかしくないこの状況において、このたびの感染者・濃厚接触者の発生に関するいわれなき差別や誹謗中傷、いたずらに個人情報等を詮索する行為等は是非とも慎んでくださいますよう、心よりお願い申し上げます。

社会福祉法人 函館一条
理事長 尾形 永造

ワークセンター一条
管理者 木田 祥平